



Vol 6

横浜市戸塚区民文化センター
さくらプラザ 情報誌



©Josep Molina

SAKURA

PLAZA



Pick
Up
Artist

インタビュー

水谷川 優子

SAKURA ONLY KNOWS ブランチコンサート Vol.9 ドイツ音楽が奏でる夏の幻影 菊地 美涼

RECOMMENDED ARTIST

エッセイ 柳家小せん

筆の向くまま

戸塚出身の小せん師匠が、扇子をペンに持ち替えて

レポート 駆が駆ける

誌上パックスステージツアー！照明編 Vol.2



SAKURA
PLAZA



水谷川 優子

みやがわ ゆうこ

チエロとともに歩み、
新たな出会いが生まれる

独特的の感性と豊かな音色で実力派チェリストとして活躍する水谷川優子さん。その活動は幅広く、日本とドイツに拠点をおき、ソロ活動のほかに、ジャンルの異なるアーティストとのコラボレーションや施設訪問コンサートなども積極的に行っている。今回はチエロの魅力からさくらプラザの新しいコンサートシリーズ「午後の名曲散歩」への思いを伺った。

まずは水谷川さんにとってチエロの魅力とはどんなところでしょうか？

シンプルに言いますと人の声に一番近いというところですね。実際に、人の声の音域とチエロの音域はとても近いのでそう聞こえるんだと思います。また、私はここ十数年、日本に帰ってくるとコンサートの空き時間を使って、色々な施設で訪問コンサートをプライベートで開催しているんです。そんな活動の中で、ヴァイオリニストの主人と二人で少年院に行ったことがあったんです。その時にいただいた子供たちからの感想文に『ヴァイオリンを聞くと勇気が出て、チエロを聞くと心のキズが治る』って書いてあったんです。そういうこともあって、チエロという楽器は人々に語りかけることができるんじゃないかと思っています。トゲトゲした心はチエロを聞くと、柔らかくなるという効果があるんじゃないかな。

あとは最初のCDを出した時に『不眠症が治りました』っていうお手紙をいただいたこともあります(笑)。

チエロの音色にはどこか人を安心させるところがあるのですね。

ええ。弦楽器というのは裏面が鳴りますが、チエロはエンドピンで床に繋がっていて、そこから耳だけでなく、もう一回、体に響く。例えば、小さな学校で演奏する時などは木の床に直接座って周りを囲んでもらいます。そうすると心以上にその体の一番奥のところに語りかけるんじゃないかなと思います。以前に耳の不自由な方から『チエロはその響きが体を通してキャッチすることができるから、ずっと聴き続けられる』と教えてくださったことがあって、私も弾いていてそう感じています。

チエロは柔らかい音というイメージがありますが、ダイレクトに体に響く音でもあると

そうですね。柔らかいところもあれば、体を揺さぶることもできるんですね。ヴァイオリン、パリトン(※)、ヴィオラ……様々な弦楽器があって、それぞれに与えられている曲がありますよね。もちろん比べることはできませんが、同じ曲でも、チエロで弾くとそこにヒューマンな物語を語ることができるのはないでしょうか。だから例えばヴァイオリンが歌うのならば、チエロは歌う以上に語るんじゃないかと思うんです。

なるほど。水谷川さんが愛用されているチエロはいかがでしょうか。

はい。今のチエロとの出会いは20年前になります。日本でのコンサートに、たまたま知人が呼んでいたコレクターの方が聴きにいらしてました。



その時に「今度、楽器を弾かせてあげるから家に遊びに来なさい」と声をかけていただいて、なんだかよく分からぬけど、面白そうだから行ってみたんですね(笑)。そこでは様々なチエロがすばらしい状態で保管されていて、名のあるチエロを何本も弾かせていただいたんです。そんな中で最後に弾いた一本が、今のチエロです。手に持つてからすぐ、無我夢中になってあつという間に時間が過ぎていった。そこで初めて底なしの手応えを感じて、一緒に手を繋いで育つていけるって思つたんです。

運命的な出会いだったのですね。どんな特徴がありますか？

そうですね。じつは『チエロオ君』と呼んでいるんですけど、完全に男性だと思います(笑)。あまり人の好き嫌いはないんじゃないかなと思います。私と呼応しているところがありまして、チエロの明るさ、真っ直ぐさに、私が引っ張られて影響を受けているところも多いです。このチエロと一緒に世界中あちこち行ったし、いろいろなホールで弾かせていただいて、昔より今のほうが彼は自由になっているんだと思います。

出会った頃と比べてどんなチエロにはどんな変化がありましたか？

まだ留学生だった頃から一緒にいますから、私の弾き方ももちろん変わりました。このチエロは1906年製なので、今108歳ですね。実は100年超えた時に音が変わったんです。それまで山あり谷ありで、弓との相性、日本での湿気で状況が悪くなつて鳴らなくなったり……けれど本当に100年になった年に、カラリとした音になりました。そういうものもあって、このチエロはいい意味で先が見えないです。でも、見えないということは、まだ可能性があるということですね。新しいものから、時にはバロックまで弾いているんですけど、なにをしても、チエロが嫌だと言わない限りは、もうちょっとお付き合いしたいです。もう一つ思うのはこの子は私が一生持つたとしても死んだ後でも、次の世代に譲っていかなければいけないと感じます。そういう意味でも大切にしていかなければならぬという意識はあります。

※パリトン＝オーストリア・南ドイツなどを中心に18世紀末頃まで用いられた弦楽器。

チエロと一緒に数々の公演をされていますが、中でも印象に残っている公演などはありますか？

私たち、旅と仕事がセットになっていて、言葉の通じない国へ行って演奏することの方が多いです。このチエロは一緒に東日本大震災も体験しまして、その後にやったコンサートのうちの一つで、エジプトでのコンサートですね。震災のニュースはエジプトでも大きく報道されていたんです。現地の方々もとても関心があって、多くの方が日本を応援していらっしゃいました。そこで黛敏郎のBUNRAKU(文楽)を、チエロで弾ける自國の曲として演奏しました。その時に楽器がいろいろなものに変身し、それが言葉も文化も歴史も違う彼らのところに、ちゃんと届けることができるんだと同じ、特に印象に残っていますね。

水谷川さんは周りの方との関係や、出会いをとても大切にしながら活動されているという印象を受けますが、戸塚で伴奏される黒田亜樹さんとはどのような繋がりがあるのですか？

クロアキちゃんは、実は同年というのもあってすごく気が合うんです。学生の頃からお互い名前だけは知っていたんですが、なかなかお会いすることもなく……7年ぐらい前ですが一緒に弾けることになり会った途端に色々話ができました(笑)。



イタリアでの私の先生と彼女のピアノの先生が、室内楽のパートナーだったこともあり、共通の知人が多く、会うべくして会ったというような感じです。

—いろいろなご縁があったんですね。デュオリサイタルの時はどんな事を意識してらっしゃいますか？

共演相手が決まつたら、それを元にプログラムは考えています。最初に共演者ありきで、自分の中で「こっち方向をやってみよう。この人と弾けるんだったら、ぜひこれを試してみたいな。」というふうに、すばらしい共演者たちのおかげでとても幅広く引き出しが持つことができます。今回に聞してもクロアキちゃんなどからこそできるプログラムを考えているところです。

—ありがとうございます。それでは最後に戸塚のお客様にひとことお願いします。

「午後の名曲散歩」という新しいシリーズの第一弾ということで、それにふさわしいチェロの名曲、また隠れた名曲も皆さんにお届けしたいと思います。ぜひ午後の楽しいひとときを、過ごしていただきたいです。お待ちしております。

一本日は貴重なお話をありがとうございました。
(於:さくらプラザ / 聞き手:佐々木愛理)

■ さくらプラザHPでは水谷川さんのコメント動画をご覧いただけます

■ 公演の詳細はチラシ、さくらプラザHPをご覧ください



©Masahumi Nakayama

水谷川 優子 Yuko Miyagawa (Cello)

桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同大学ディプロマコースを経て、ザルツブルク・モーツアルデウム音楽院首席卒業、同大学修士修了マギスターの称号を得る。同時にローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーのソリストコースにて研鑽を積みながらヨーロッパでの演奏活動を開始した。第6回東京国際室内楽コンクール優勝、併せて齋藤秀雄賞とアサヒビール賞を受賞、イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝、ピネローゴ国際室内楽コンクール2位、バロックザール賞(オオフィルストリオ)など多数受賞。2003年より毎年で本格的に演奏活動をはじめた水谷川はいま日本の音楽界にその独特の感性と豊かな音色が、際立つ実力派アーティストとして堂々たる存在を印象づけている。また社会貢献の意識も高く、コンサートの傍ら、ライブ・ワークとして続けている少年院、ホスピス、障害者福祉施設などにおける施設訪問コンサートの実績が認められ、2002年度より10年間、財団法人健進会から助成を受けた。ソロのCD「歌の調べのように」「ソルヴェイグの祈り」(共にピカターよリリース)は「コード芸術」で準推薦盤と準特選盤に選出され、「勇気つけ、包んでくれるような暖かい音色」(東京新聞)「心をノックするチェロ」(毎日新聞)と、音楽家としての本質を高く評価された。ソロ以外でも邦楽など異分野アーティストとのコラボ(NHK第35回日本賞受賞式で能管の一峰幸弘氏と皇太子御夫妻のご列席のもとで記念演奏)の他、チェンバロ三重奏「アクリアトリニティ」や「アンサンブルフ(ファイ)」といったさまざまな演奏活動を展開中。そのユニークな活躍ぶりが注目され、ラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」やテレビ(NHK BS1 地球テレビ エル・ムンド)などにゲスト出演を重ねている。現在は日本のほかにドイツにも拠点を置いて世界各地の音楽祭に独奏者、室内楽奏者として招聘され高い評価を獲得、エジプトやアゼルバイジャンなどでもマスタークラスとコンサートを行っている。その豊潤な調べは多くの人を魅了してやまない。2014年には、待望のニューアルバム「ConAnima~魂をそえて」をリリース。

■オフィシャルブログ「チエリスト日記」
<http://yukomiyagawa.blog5.fc2.com/>

■オフィシャルWEBSITE
<http://www.yuko-miyagawa.com/>

■Facebookオフィシャルページ
<https://www.facebook.com/YukoMiyagawa.Cello>

午後の名曲散歩の歩き方

さくらプラザがお贈りする、新たなコンサートシリーズ「午後の名曲散歩」。数あるクラシックの名曲を実力派アーティストの演奏とともに楽しめます。

午後のひととき、名曲散歩へ出かけてみませんか？

ココがポイント
全公演
14:00 開演
(公演時間90分程度)

全公演が開場13:30／開演14:00となっています。
戸塚駅から連絡通路で徒歩2分。駅周辺にはおいしいお店もいっぱいあります！ゆっくりランチを楽しんだ後にはコンサート。コンサートの後には、お友達とティータイムも◎。日常にクラシックをプラスして、ちょっと優雅にすごしてみませんか？

だれもが知っている有名な曲だけが名曲ではありません。今回のシリーズでは、隠れた名曲もみなさんへお贈りします。各回のプログラムにもご注目してお越しください。名前も知らないかった曲が、お気に入りの1曲になるかもしれません。

ココがポイント
お手頃な
チケット料金

全公演2,000円。Vol.1～Vol.3までの3公演セット券は5,000円でご用意しております。(1,000円おトク!)
公演時間も90分と気軽に楽しめるお時間なので、お友達やご夫婦、ご家族と一緒にぜひお越しください。

ココがポイント
隠れた名曲も
お届けします

Vol.1
9月17日(水)
水谷川 優子(Vc)
黒田 亜樹(Pf)

サン=サーンス:白鳥
ベートーヴェン:モーツアルトの『魔笛』の
『娘か女か?』の主題による12の変奏曲
へ長調 Op.66
ラフマニノフ:ヴォカリーズ
ピアソラ:グラランゴ、リベルタンゴ
ほか

Vol.2
10月22日(水)
水永 牧子(Cemb)
ほか

J.P.スウェーリング:まぬけなシモン
W.ノードンガバインドローン:「戦いより
S.マイヤーズ:カヴァティーナ
M.リョベート:聖母の御子、羊飼いの娘、
糸を筋ぐ娘
W.A.モーツアルト:きらきら星変奏曲
ほか

Vol.3
11月26日(水)
西江 辰郎(Vn)
菊地 裕介(Pf)

ヘンデル:ソナタ Op.1 No.3
トゥリーナ:ヴァイオリン・ソナタ第2番
Op.82/ソナタ・エスキニョーラ
クラリマー:シンコペーション
ヴィタリー:シャコンヌ
サン=サーンス:ヴァイオリン・ソナタ
第1番 二重調Op.75
ほか

※曲目・曲順は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。



—演奏するにあたって心がけている事はありますか?

ピアノに向かう時は、常に取り組む作品と落ち着いて向き合うよう気を付けています。忙しい時などは集中できず、様々な雑念にとらわれがちなので……。最近は、日頃からできるだけ音楽的な心の状態を保つよう心がけています。

—子供のころ、どんな音楽を聴いていましたか?

思い返してみると、父親が集めていたクラシックの作曲家別名曲コレクションの様な物をよく聴いていたように思います。時々、流行っている曲などで気に入ったものがあると聴いていました。

—オーストリアにお住まいになられて4年目のことですが、なにか思い出はございますか?

夏にザルツブルク郊外の山の方にある別荘地に遊びに行き、可愛らしい家々や、綺麗な湖、夜には空一面の星に癒されました。また夏は日が長いので夜まで明るく、バーベキューをしたりするのもとても気持ちよい季節です。冬には「クリスマスマルクト(マーケット)」が出て、飲み食いしながら可愛い出店を眺めるのも一年の楽しみです!またなんといっても素晴らしいコンサートが自白押しで、音楽祭のシーズンなどは何とも言えず贅沢な気分になります。

—ザルツブルクでのおすすめの場所はありますか?

街の中心にザルツアッハという川が流れているのですが、その川を渡るときに広がる景色を見る度、この街に住んでいて良かったと感じています。



もう一つは「Stiegl」というザルツブルクのビールの醸造所で、そのレストランで飲める出来たての生ビールは、まろやかでとても美味しいです!

—戸塚のお客様にメッセージをお願いします。

開館記念式典コンサートに引き続き、さくらラザで再び演奏させていただけるということで、大変嬉しい、また今からとても楽しみにしています。今回は私の好きな曲ばかりでプログラムを組ませていただきました。爽やかなモーツアルトに始まり、親しみやすいメンデルスゾーンの小品を挟んで、最後に味わい深いプラームスの晩年の小品集をお届けします。色とりどりの美しいドイツ音楽と共にお昼のひと時を過ごしませんか?

(担当:黒澤翔)



菊地 美涼 (きくち みすず)

2010年秋よりザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学に留学中。第8回エトリンゲン国際ピアノコンクールA部門第1位、第8回ヨーロッパショパンピアノコンクール(ドイツ)最年少5位。2011年モーツアルトプライス2011(モーツアルテウム学内コンクール)第1位。その他、国内外での演奏会に出演。ヤマハ音楽支援制度、留学奨学生。

ランチコンサート Vol.9 ドイツ音楽が奏でる夏の幻影

8月18日(月) OPEN 11:00 / START 11:30

モーツアルト:ピアノソナタ 第12番 へ長調 KV.332

メンデルスゾーン:無言歌より 「甘い思い出」Op.19-1
「浮雲」Op.53-2

メンデルスゾーン=ラフマニノフ:「真夏の夜の夢」より
スケルツォ

プラームス:4つの小品 Op.119

◆ 聴きどころ

絶え間なく照りつける太陽、朦朧とする暑さ……真夏の混沌とした意識の中に見る白昼夢の様な、幻想的なプログラムとなっています。

モーツアルトによる爽やかなピアノソナタ、美しくどこか懐かしさを覚えるメロディーを紡ぎだす2つの無言歌、そして劇音楽「真夏の夜の夢」から、妖精たちの様子を垣間見ているような愛らしいスケルツォをラフマニノフの編曲版でお贈りします。

晩年のプラームスの作品である4つの小品では、晩夏を思わせるような寂寥感を帯びた切なく暖かな調べをお楽しみ下さい。

好評発売中

ランチコンサート Vol.8 / Vol.9

全席指定(前売 / 当日) 一般 1,000円

お問い合わせ

戸塚区民文化センター
さくらラザ 045-866-2501



連載 第七回

● ● ● ● ●

夏ですね。今年も暑くなるのでしょうか。いや、夏が暑いのは当たり前なのですが、こここのところ毎年のように「今年の暑さは異常だ」と聞いているような気がします。エルニーニョが発生して冷夏になるかもと言われていますが、六月の声を聞いた途端に真夏日だ猛暑日などの騒ぎ。ねえ、どうなるのでしょうか。この文章が皆様の目に触れる頃には梅雨も明けて予報がはつきりしているかもしれません。いずれにしましてもお身体大事になさってくださいませ。

学生時代、夏といえばコンクール。吹奏楽部に所属しておりましたので、中學から高校、大学と、みっちり十年、吹奏楽部員でした。その大会が夏場にあります。夏休みになると、とにかくがつり毎日練習に明け暮れておりました。十数年経つても暑くなると自然に思い出されます。演奏会がしたい冬場でしたにももちろん力を入れるのですが、「コンクール」となると細かいところにも神経とがんせてみっちり練習しますので、より強く印象に残っているかもしれません。そもそも子供の頃から音楽が好きで、聴いたり歌ったりするのもいいのですが、特に楽器を演奏するのが好きで、いろいろやっておりました。ピアノを習い始めたのが幼稚園に通っていた時分で、小学生時代にギターを買ってもらいひたすら独りで弾いて(バンドを組もうとかが発表しようとかは考えず)。中学に入つて吹奏楽部でトランペットとコントラバス(高校、大学では同じ吹奏楽部でも打楽器担当)。まあ、いろいろ手を出した分どれも中途半端で、たいして上手くはないのですけれど。

それでも高校の時に、音楽の先生から「音大を受けてみたいか」とすすめられまして。(けつこう音楽に力を入れている学校で、一学年で数人は音大に進むという環境でした。)

春風亭小朝独演会開催

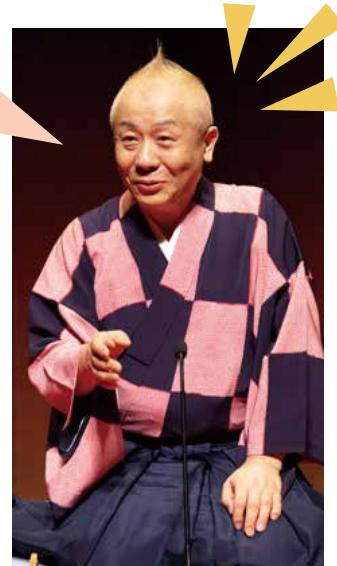
小朝師匠にコメントをいただきました。

戸塚の皆さん、こんにちは、春風亭小朝です。

只今、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の明智光秀役で頑張っています。ご覧いただけますか? 落語では何人の登場人物をひとりで演じますので、ひとりの役になるということ、相手役がいるということをとても楽しみながら演らせていただけています。また、演出の方法やカット割りがとても参考になります。収録はすでに先日終わりましたが、放送ではこれからがちょうど本能寺の変に向かって光秀の山場になりますので、ぜひ見てくださいね。

ということで、今年も後半になり、ここからは本業に戻り、落語一筋に頑張りますので、よろしくお願い致します。戸塚の皆様には年一回独演会でお世話になっていますが、今年は昨年新しくできたホールでの会ということでもわくわくしています。いつも落語を初めて聴く方を意識して何種類かタイプの違った噺をするようになっていますが、今年は光秀によって得たものを落語にも活かせたらと思っています。どう変わるのが僕自身も興味を持って臨みます。

8月の会で皆様にお会いできることを楽しみにしています。



春風亭小朝独演会

【日時】平成26年8月17日(日)
開演13:30 (開場13:00)

【会場】戸塚区民文化センターさくらプラザ ホール
【チケット料金】全席指定 3,500円(税込)

【チケット発売】7月9日(水)10:00~

【プレイガイド】

●戸塚区民文化センターさくらプラザ(総合庁舎内4階)
窓口で直接購入 9:00~21:00、販売初日は10:00~
休館日 8/12(火)・13(水)

●チケットぴあ (Pコード437-978) TEL.0570-02-9999
(24時間受付/販売初日は10:00~)
セブンイレブン、サークルK・サンクスで直接購入※Pコード
(24時間受付/販売初日は10:00~)

●ローソンチケット(Lコード37599) TEL.0570-084-003
(24時間受付/販売初日は10:00~)

●イープラス <http://eplus.jp> (PC/携帯)
(24時間受付/販売初日は10:00~)

●ファミリーマート直接購入
(24時間受付/販売初日は10:00~)

【主催・問合せ】さくらプラザ (TEL. 045-866-2501)

春々堂 (TEL.03-3447-2131)

【特記事項】未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

トツカミカエリオヤジ
其之六の後ろ姿は...
戸塚で写真スタジオを始めて100周年。
大正3年創業、井野写真の井野辰也さんでした。



商店の主人など、
戸塚区内で働いているオヤジ世代の後ろ姿から、
何処の何方だろうかと想像してみるコーナーです。
次号では、見返りポーズで、お顔を公開します。

顔見世

考えたのですが、音大に進学!!職業にするという思い込み(今思ふと、必ずしもそうではないのですが)もあったのですね。「音楽で好きなことで食っていくのは大変だから……」と普通の大學生、そこで、今となつては落語を生業としているのです。昔の自分。(今の自分を「なにやつてんだか」と責めるべきでないのです)。昔の自分(今の自分)で、今でも続いている吹奏楽団にも所属しておりますし(幽霊団員ですが……)、年に一度度々人で組むピッグバンドにはトランペットで参加。橋文左衛門師匠と入船亮辰辰師匠と三人で三才辰文舍(さんけいしんぶんしゃ)というギター抱えて歌舞コンサートを組んで、年に数回(落語&ライブ)のイベントを打つて世間にご迷惑をかけております。

好きなものは止まりませんなあ……。(柳家小せん・戸塚出身 落語家)

駆がく 駆ける

連載
7

誌上バックステージツア！ 照明編 Vol.2



図2

図1



こんにちは!さくらプラザの渡辺 駆(かける)です。前回に引き続き「誌上バックステージツア! 照明編 Vol.2」をお送りします。読んでいただきて当館ホールを知つてもらえたなら嬉しいです!

前回は、さくらプラザホールの光の効果を調整する調光室と、ピンスポットが置いてあるビンルームを紹介しました。

【図1】をご覧ください。ホールを上から見た図です。これらのライトが舞台を照らすことにより、【図2】のようになります。舞台の周りにはそれぞれ役割を持った照明機材があります。

今回はそれらを紹介させていただきます。

サスペンションライト



これは舞台上のバトンに吊るされたライトです。

サスペンションライトの角度調整をします。調整OKなら上にあげます。若干の角度調整なら介錯棒という長い棒を使って下ろさずに角度調整をします。



シーリングライト 図4

シーリングライト

シーリングライトは前から舞台を照らす役割を持ちます。【図4】

なぜ前からの光が必要なのでしょうか。

例えばサスペンションライトの明かりだけだと、出演者の顔が陰になって表情が見えなくなってしまうことがあります。それをなくすために、上からの明かりに加えて前からも光を当てて陰が出来ないようにします。



図5

フロントライト

フロントライトはシーリングライトと同じく前から舞台を照らす役割を持ちます。【図5】シーリングライトの補助のような形で使用されることが多いです。

さくらプラザのフロントライトは、2階バルコニー席の先端にあります。シーリングライトより低い位置にあるため舞台に立つと、少し眩しい……かも!

ホリゾントライト

最後に正面の壁の鮮やかな光についてです。舞台後方にホリゾント幕という白い幕が吊ってあり幕を下ろしてそこにホリゾントライトという照明を当てて作られています。このライトは舞台奥の上下にあり、上をアップホリゾントライト(通称:アップ)【図6】と下をロアホリゾントライト(通称:ロー)と言います。青空・夕焼けなど背景を表現する際に使われることがあります。



ロアホリゾントライト

今回は舞台の周辺の照明機材を紹介させていただきました。読んでいただきありがとうございました。公演を観に行くときは、是非今回紹介した機材がどのように使われているのかも注目していただけると新しい楽しさを発見できるかもしれません!

次回の駆が駆けるもお楽しみに!!

さくらプラザ 桜 自主事業公演スケジュール

7月
July

7/11 20:00
若林頭
ベートーヴェン
ピアノ・ソナタシリーズ
第2回

7/28 11:30
プランチコンサートVol.8
小林愛実(Pf)
ショパンとシューマン
2人の天才

8月
August

8/17 13:30
春風亭小朝 独演会

8/18 11:30
プランチコンサートVol.9
菊地 美涼(Pf)
ドイツ音楽が奏でる
夏の幻影

8/30 17:30
『真夏のさくらの祭典』前夜祭
～ガールズ・ミュージック
フェスティバル～

8/31 9:00~17:30
『真夏のさくらの祭典』
～さくらプラザ・
オープンデイ～

●開館1周年記念イベント●
【ホール】
親子で楽しめるコンサート
～ジブリから本格クラシックまで～
【多目的スペース】
特設プラネタリウム
【リハーサル室】
口笛ライブ
【創作室】
タイル絵付け体験
【練習室】
オペラかみしばい“魔笛”
【ギャラリー】
2024年とつか未来地図展
&
JAZZジャケット展
～どうぶつとの生きいっぱい～
などなど
イベントもりだくさん!

9月
September

9/17 14:00
午後の名曲散歩
Vol.1
水谷川優子(Vc)
黒田亜樹(Pf)

9/19 20:00
若林頭
ベートーヴェン
ピアノ・ソナタシリーズ
第3回

9/27 14:00
フルート&ギター
珠玉の名曲集
山形由美(Fl)
莊村清志(Gt)

Coming soon!!

- 10/22 午後の名曲散歩Vol.2 水永牧子(チェンバロ)
- 11/8 前橋汀子プロデュースVol.2 『弦楽四重奏を聞いてみませんか』
- 11/14 若林頭ベートーヴェンピアノ・ソナタシリーズ第4回
- 11/26 午後の名曲散歩Vol.3 西江辰郎(Vn)菊地裕介(Pf)
- 12/1 プランチコンサートVol.10 北村朋幹(Pf)
- 12/14 鈴木理恵子(Vn)リサイタル

⋮

ご予約・お問合せは TEL: 045-866-2501

Vol.6

横浜市戸塚区民文化センター
さくらプラザ 情報誌

2014.7.1発行



戸塚区民文化センター さくらプラザ

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17 FAX: 045-866-2502

<http://www.totsuka.hall-info.jp> MAIL: event@totsuka.hall-info.jp